

家康公の国づくりと夢の跡

MAP P40・41

- 【伊東市】
- 1 按針メモリアルパーク
- 2 ウィリアム・アダムス記念碑
- 【東伊豆町】
- 3 稲取の築城石
- 【三島市】
- 4 富士川渡船場の碑
- 5 東海道 松並木
- 6 宝池寺一里塚

今も息づく家康公の国づくりの夢

戦国の世に終止符を打った家康公は征夷大將軍となり、江戸幕府を開いた。そして、江戸城の築城や街道の整備に着手するなど国づくりを進めていく。64歳で秀忠に將軍職を譲り、隠居の

身になってからも大御所として国づくりに力を注いだ。

家康公は知識欲が旺盛で、学問好きだったといわれる。英国人航海士で外交顧問だったウィリアム・アダムス(三浦按針)から数学や地理学、海外の情報などを学び、外国との交易を夢見た。ウィリアム・アダムスに命じて日本初の洋式帆船もつくらせている。

また、江戸を中心に五街道の整備に力を入れ、特に東海道を重視した。1601年(慶長6年)には東海道に伝馬制をしき、通行の便宜を図っている。ちなみに現代の日本の交通網は、江戸幕府が整備した街道が発展したもの。家康公の国づくりは、今の私たちの暮らしにも息づいているのだ。

天下を取った武将から、優れた政治家となって手腕を発揮した家康公。そのゆかりのスポットへ出かけよう。



5 東海道 松並木(三島市)

国道1号(旧東海道)で見られる1km以上にわたる松並木。江戸幕府が植えさせた名残で、夏は木陰をつくり、冬は風を防いで街道を行く当時の旅人を助けたという。

三島市川原ヶ谷 ☎055-971-5000(三島市観光協会)



ほうち じいちりづか
6 宝池寺一里塚

江戸幕府が主な街道沿いに築いた一里塚は、半球状に土を盛り、頂上に木を植えたものが標準形とされる。宝池寺の一里塚は、東海道を挟んで伏見玉井寺(ぎょくせいじ)の一里塚と一対となる貴重なものだ。

駿東郡清水町伏見720-1
☎055-981-8238(清水町観光協会)



4 富士川渡船場の碑
(松岡水神社境内)

国づくりの取り組みとして、街道などの交通網の整備に力を入れた家康公。富士川渡船場の碑は、富士川の渡船が旅人や産物輸送の交通手段であったことを伝えてくれる。この碑は、東海道の百年祭記念事業の一つとして建立された。

富士市松岡字船場1816
☎0545-51-0123
(富士市役所)

1 按針メモリアルパーク

ウィリアム・アダムス(三浦按針)の功績をたたえてつくられた公園。どこか異国情緒を感じる園内には記念碑をはじめ、地元の彫刻家・重岡健治氏が手がけた按針像もある。

伊東市渚町6-16
☎0557-37-6105(伊東観光協会)



2 ウィリアム・アダムス記念碑

①記念碑:ウィリアム・アダムスが日本初の洋式帆船を建造し、その400年を記念する碑。川口公園内にある。関ヶ原の戦いがまだ始まる前の1600年(慶長5年)4月、ウィリアムは船の難破によって九州に漂着。取り調べを行った家康公は彼の人物のすばらしさを知り、天下統一後に外交顧問にした。

②按針祭(あんじんさい):毎年夏に開催される按針祭。祭りのクライマックスは夜空を華麗に彩る花火大会だ。

伊東市渚町4(川口公園)
☎0557-37-6105(伊東観光協会)

江戸城を築いた石は静岡産! 江戸城の修築にも用いられた伊豆石は、良質な石として知られている。伊豆半島やその周辺は古くから伊豆石の加工が行われてきた地域。石を切り出していた時期などは不明だが、現在も伊豆市の紙谷地区、土肥、東伊豆町などで、石丁場跡(山から石を切り出した跡)が見られる。切り出した石をそのまま船で運びやすいように、石丁場の多くは海岸線にあった。石丁場跡を見れば、機械などがなかった当時の人々の知恵や工夫、苦心も感じられる。



江戸城を築いた石は静岡産!



3 稲取の築城石

家康公の江戸城大修築の発令により、命を受けた藩は伊豆の山で築城石を採取した。稲取文化公園には江戸城の修築のために切り出された角石が残る。写真は土佐二代目藩主(山内一豊の甥)が準備したもの。

静岡県賀茂郡東伊豆町稲取1699-1
☎0557-95-2901
(稲取温泉旅館協同組合)



●伊豆石と石丁場跡
(伊豆市)

